

・西銘宜正（佐敷中学校）

雲の観察と指導法の工夫

3. 各賞候補者の会員資格の有無について
全理事の投票結果、原案通り承認された。この覚書は各選考委員会に送る。
4. 平成2年度の予算案及び事業報告・事業計画案について
引続き各委員会および各支部から意見を求め継続的に案を見直して行くことになった。
5. 故堀内会員の追贈寄付金の運用について
庶務担当理事から、最終的には国際学術交流基金に繰り入れるが、1993のIAMAPの運転資金として当面活用させて頂くという案が提案された。大筋了解され、第4回理事会に提案することになった。
6. 「山本・正野論文賞」のメダルについて
現在の山本賞の図案についての調査結果が事務局より報告された。前回の常任理事会の提案について特に問題が無いことが確認され、富士山をバックにした現在のメダルのデザインを残し文字を変える案を第4回理事会に提案し承認してもらうことになった。
7. 会員の種別と会費の改訂案について
外国人会員の会費の適正化、会員種別の簡素化および会費・刊行物価格体系の簡素化等を目的に改訂案が庶務担当理事から提示され審議された。

体系がかなりすっきりして良いとの意見があったが、気象学会の根幹に係わる事なので、第4回理事会の議題とし、更に審議することになった。

8. 気象研究ノートの印刷について
経費の節減を図るため印刷方式の変更について庶務担当理事から提案があり審議された。UAPに見本刷りを提出させ、編集委員会及び第4回理事会で検討してもらうことになった。
9. 後援等の依頼について
古賀理事から、1991年1月に日本で開催が予定されている「気候変動による環境・社会影響に関する国際会議」(主催：気候影響利用研究会・UNEP・WMO)について気象学会が後援(または共催)団体となることについて承認が求められ審議の結果了解された。
10. 第4回理事会の議題について
 - ・IAMAP-93の日本開催について
 - ・AGUについて
 - ・第26期役員選挙の選挙管理委員長について
 - ・故堀内会員の追贈寄付金の運用について
 - ・会員の種別と会費の改訂案について
 - ・気象研究ノートの印刷について
 - ・気象集誌の印刷密度のグレイドアップについて
 - ・「山本・正野論文賞」のメダルについて
 - ・平成2年度の予算案及び事業報告・事業計画案について

編集後記：10月から11月は、季節が秋から冬へと急激に進む季節。今年の秋は、暖かい日が続いたが、ここの所急に寒くなり、12月中ごろの寒さとなった。(現在11月半ば)

今年の秋の暖かさは、今話題の温暖化の影響か？と、マスコミの良き話題提供となるのであろうか。

11月14日、第31次南極観測隊が南極に向け旅立った。気候変動への対応が問題となっている昨今、「南極の気

候変動に関する総合研究」は5年計画の4年目、南極のオゾンホールで有名となったオゾン観測は、南極昭和基地での観測の強化や、往路「しらせ」船上での観測と、観測データの数少ない場所での貴重な観測データを与えてくれるだけに、今後の気候変動や、オゾン層破壊の問題解明の手掛かりとなることから、その成果が期待される。(O)